

立校報  
市形中  
慈山校  
久山校

# やまどり

自主・創造・躍進・敬愛

第15号  
令和6年11月12日(火)  
文責：奥秀樹

## 「心華」大きな実を結んだ文化祭

十月二十六日(土)に久慈市山村文化交流センターおらほーるにおいて、文化祭を開催しました。生徒会が考

えた文化祭スローガンは「心華」今、結実のときです。第四十二期生徒会の集大成と

して、全校の想いを一つにしてみんなで大輪

の花を咲かせたいという思いが込められています。文化祭のスタートは開祭セレモニーで

す。校長先生、生徒会長の大上煌魁さんからあいさつがありました。ステージ発表の一番手は、英語暗唱発表

です。一年・西天音さん、砂川喜和満さん、三年・清水川結央さんが発表しました。続いて私の主張は、二年・佐々木蘭さんが発表し

ました。どの発表も、これまで久慈市の大会で高い評価をいただいているもので、たいへん素晴らしい発表でし

た。次は合唱祭です。一年生が「旅立ちの時」、二年生が「時を越えて」、三年生が「宇宙戦艦ヤマト」、「空に笑えば」を発表した後、全校合唱として「水平線」「虹」を発表しました。全校生徒一人ひとりが、練習に集中して取り組んだ結果、目

標にしていた「会場へ元気と感動を届けること」を達成できました。ステージ発表の最後は、演劇です。題名は「夜明けを、君と」で、震災で父を亡くした主人公が、文化祭の演劇で地震を題材にしようとする友人と仲間割れを起こしてしまうが、



転校生や友人の想いを受けて一歩前進する姿を描いた劇です。キャ



ストをはじめ、大道具、小道具、照明、音響、



衣装メイクのスタッフも含めて全員が心をひとつにし、練習に練習を重ねた結果、大きな感動を呼ぶ演劇となりました。



ました。会場には、来賓をはじめ保護者や家族、地域の皆さんが多



数来場下さり、百名を超える参観者となりました。本当にありがとうございました。